

公益社団法人 日本水産学会
令和 6 年度第 6 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 6 年 12 月 7 日（土）13 時 00 分～15 時 18 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 17 名、定足数 9 名

4 出席理事総数 16 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、大越和加、征矢野 清、吉崎悟朗、河村知彦、片山知史、
阪倉良孝、栗田 豊、大久保範聰、都木靖彰、平井俊朗、生田和正、
河村功一、益田玲爾、足立真佐雄、荒川 修

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義、野澤知世

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

山本洋嗣、森田哲朗、寺原 猛

7 オブザーバー

（Web 会議システムによる出席）

木村 稔（会長指名理事候補者）、マーシー・ワイルダー（会長指名理
事候補者）

8 議 案

決議事項

第 1 号議案 「会費免除承認」の件

第 2 号議案 「職員給与規程の一部改正」の件

第 3 号議案 「令和 6 年度日本水産学会各賞受賞者の決定」の件

第 4 号議案 「令和 6 年度学会賞・論文賞授賞式の日程、場所及び開催方法」
の件

第 5 号議案 「日本水産学会誌 91 巻における会員販売促進の継続」の件

第 6 号議案 「後援」の件

第 7 号議案 「入会承認」の件

第 8 号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

報告事項

① 第 5 回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

（1）定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムによ
り、出席者の音声、映像が同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するの
と同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。
続いて本会議の議事進行について説明があった。

（2）議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「会費免除承認」の件

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「職員給与規程の一部改正」の件 (別紙 1)

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 3 号議案 「令和 6 年度日本水産学会各賞受賞者の決定」の件

益田学会賞担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

日本水産学会賞

浅川修一「ゲノム解析など核酸オーム解析による海洋生物の生命機能の解明」
八木信行「水産物の価格形成メカニズムの解明および国際貿易への応用に関する研究」

日本水産学会功績賞

荒井修亮「水圏生物の生態解明に資する硬組織分析およびバイオロギングの手法開発と一連の研究」

長島裕二「魚貝類の自然毒および生理活性タンパク質に関する食品衛生学的研究」

水産学進歩賞

井尻成保「魚類の卵巣の分化から卵成熟までを制御するステロイドホルモン産生機構の解明」

小谷知也「海産魚類種苗生産における生物餌料及び仔魚の摂餌・消化特性に関する研究」

樋口健太郎「大型海産養殖魚における親魚養成および産卵誘導技術の高度化に関する研究」

柳本 卓「水産生物の種判別等に関する研究」

水産学奨励賞

市田健介「細胞表面抗原を利用した魚類生殖細胞の可視化およびその追跡」

富安 信「モニタリング技術の併用による重要水産資源の行動生態の多面的可視化」

中村政裕「魚類の生活史戦略に関する行動生理学的研究」

山本慧史「初期餌料としての海洋性微細藻類の利用と実用化に関する基礎的研究」

水産学技術賞

該当者なし

第 4 号議案 「令和 6 年度学会賞・論文賞授賞式の日程、場所及び開催方法」の件

吉崎総務担当理事より、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

日 程：令和 7 年 3 月 27 日

場 所：北里大学相模原キャンパス（春季大会会場）

開催方法：対面（オンラインも併用する予定）

第 5 号議案 「日本水産学会誌 91 巻における会員販売促進の継続」の件

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第6号議案 「後援」の件

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援を可決した。

① KISTEC 教育講座「システム構成とコストマネージメントから考える海洋水産資源開発」

主 催 神奈川県立産業技術総合研究所

後 援 環境バイオテクノロジー学会 他 5 団体

日 程 令和 7 年 2 月 4 日

場 所 かながわサイエンスパーク (神奈川県川崎市)

希 望 後援

負担金 なし

第7号議案 「入会承認」の件

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第8号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

吉崎総務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

(報告事項)

① 第5回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長より、以下の報告があった。

1) 水産・海洋科学研究連絡協議会について、12月19日に開催予定となっており、本会の情報を提供する。また今後、日本学術会議の食料科学委員会水産分科会とシンポジウムを開催する予定である。

2) 令和6年度全国水産試験場長会全国大会に参加した。

3) 韓国水産科学会との間における学術交流協定を更新した。更新にあたり征矢野副会長に、韓国を訪問して対応いただいた。

・庶務関係

吉崎担当理事より、以下の報告があった。

1) 来年の4月から公益法人制度が変更されるにあたり、現在、水産学会における対応について会長および総務で内容を検討している。今後、定款の変更および関連する規則、規程の改正が必要である。

2) 学会事務職員の期末手当について

期末手当について、規程の範囲内で加算を検討し、支給した。

3) 協賛について

共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用した。

① 海洋調査技術学会第36回研究成果発表会

主 催 海洋調査技術学会

協 賛 海中海底工学フォーラム・ZERO 他 18 学協会

日 程 令和 6 年 11 月 19 日・20 日

場 所 東京海洋大学越中島キャンパス 85周年記念会館 (東京都江東区)

希 望 協賛

負担金 なし

②第 18 回日本電磁波エネルギー応用学会研究会

主 催 日本電磁波エネルギー応用学会

協 賛 IEEE MTT-S Japan Chapter 他 10 団体

日 程 令和 7 年 1 月 24 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

③Techno-Ocean 2025

主 催 テクノオーシャン・ネットワーク

協 賛 日本海事広報協会 他 69 団体

日 程 令和 7 年 11 月 27 日～29 日

場 所 神戸国際展示場（兵庫県神戸市）

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

片山担当理事より、11 月 6 日に企画広報委員会を開催した旨の報告があった。

・財務関係

河村(知)担当理事 特になし。

・編集関係

都木担当理事より、以下の報告があった。

1) オープンアクセス化の特別委員会に若手委員 3 名を推薦した。

2) 水産学会誌および *Fisheries Science* について、公的研究資金による研究成果のオープンアクセス化に利用できることを、会員に周知するために文面等の準備中である。

3) 令和 6 年度論文賞の第一段階選考が始まっている。

・学会賞関係

益田担当理事より、日本農学進歩賞に本学会より板倉光氏を推薦し、受賞されたとの報告があった。

・シンポジウム関係

征矢野担当理事 特になし。

・出版関係

吉崎担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

河村(知)担当理事より、これまでの委員会開催および今後の開催予定について報告があった。

・国際交流関係

大久保担当理事より、第 2 回の委員会が開催され、水産学会創立百周年記念事業としての国際シンポジウムについての意見交換や、若手研究者の国際学会参加支援について対象者が決まった旨の報告があった。

本報告について、以下の意見があった。

東海会長「公益目的事業の表彰のひとつとしえ、支援を決定した理由をホームページ等で簡潔に説明、公表していただきたい。」

・水産教育関係

荒川担当理事より、9 月 24 日に令和 6 年度第 2 回委員会が開催され、令和 7 年度春季大会にてシンポジウム「テーマ：人口減少社会における海洋・水産に關

わる教育機関の課題と展望」を開催する予定である旨が報告された。

・水産政策関係

栗田担当理事から、委員会を開催し意見交換を行った旨と令和4年度春季大会のシンポジウムをベースとしたe-水産学シリーズが刊行予定であることが報告された。

・漁業・資源管理関係

栗田担当理事から、委員会が開催され、次期委員長が決定し、来年度春季大会でスルメイカの不漁に関連するシンポジウムを開催予定である旨の報告があった。

・水産利用関係

荒川担当理事より、以下の報告があった。

- 1) 令和6年度第1回講演会「アニサキス－その生態と危害防止－」を令和6年10月4日に東京海洋大学品川キャンパスで開催した。
- 2) 第2回講演会「これからの中國水産加工原料供給－多獲性浮魚資源の動向」が12月24日に東京海洋大学品川キャンパスで開催予定となっている。

・水産増殖関係

阪倉担当理事より、以下の報告があった。

- 1) 秋季大会中にシンポジウム「関西圏の増養殖のホットトピックス」を開催した。
- 2) 来年度春季大会にて水産認証に関するシンポジウムを開催予定である。

・水圈環境関係

大越担当理事より、以下の報告があった。

- 1) 秋季大会中に令和6年度水産環境保全委員会研究会「琵琶湖における環境変動と漁業生産の変化：瀬戸内海と比較して考える」が開催された。
- 2) 来年度の研究会では海洋プラスチックをテーマとする予定である。

・男女共同参画関係

大越担当理事より、秋季大会中にランチョンセミナー「女性研究者の参画を妨げる無意識のバイアス－学会で何ができるのか？－」が開催されたことが報告された。

・水産学若手の会関係

大久保担当理事より、秋季大会においてシンポジウムとナイトポスターセッションを開催した旨、また学部生無料化企画を実施した旨の報告があった。

本件について以下の通り、意見交換がなされた。

生田理事「若い方々が水産の未来について、どのように捉えているか非常に興味がある。これら会議等の内容については、どこかでまとめられないか。」

大久保理事「若手の会でホームページを作成しており、そこで開催記録を確認できる。」

東海会長「日本水産学会誌のシンポジウム記録や水産学若手の会のWebページや公式SNS“X”でも発信しているので、そちらをフォローいただくと良い。」

・社会連携関係

東海会長より、全国水産試験場長会との連携について検討している旨の報告があった。

・将来計画関係

征矢野担当理事　特になし。

・北海道支部、地域連携関係

　　都木担当理事より、令和7年1月11日に北海道支部大会が開催予定である旨の報告があった。

・東北支部、地域連携関係

　　平井担当理事より、以下の報告があった。

1) 10月19-20日に東北支部大会およびシンポジウム「東北地方の水産業に与える地球温暖化の影響と対応策」が開催された旨の報告があった。

2) 令和7年2月14日に東北大学青葉山キャンパスで東北支部例会および総会を開催し、栗田理事から特別講演をしていただく予定。

・関東支部、地域連携関係

　　生田担当理事より、令和7年度春季大会は北里大学海洋生命科学部の相模原キャンパスで開催予定である旨の報告があった。また民間企業主催のランチョンセミナーが2件開催される旨もあわせて報告された。

・中部支部、地域連携関係

　　河村(功)担当理事より、支部大会を令和6年12月14日に三重大学にて開催予定の報告があった。

・近畿支部、地域連携関係

　　益田担当理事より、12月21日に支部例会を開催予定であり、荒井修亮先生に講演を依頼している旨の報告があった。

・中国・四国支部、地域連携関係

　　足立担当理事より、11月30日から12月1日にかけて支部例会が高知大学で開催され、参加者が138名で若手が8割以上であった旨の報告があった。

・九州支部、地域連携関係

　　荒川担当理事より、12月14-15日の日程で支部大会・総会・例会の開催が予定されている旨の報告があった。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

　　阪倉担当理事より、次の報告があった。

1) マーシー・ワイルダー先生が進められているエビの内容に関する原稿が半分程度出来上がってきた。

2) 福山大学の有瀧先生の企画については、英文企画書が出来上がってきた段階である。

3) 東京海洋大学の岡崎先生から水産食品に関する企画があがっており、水産学シリーズの「水産物の先進的な冷凍流通技術と品質制御」をたたき台として検討段階にある。

・財務検討委員会（特別委員会）

　　河村(知)担当理事　特になし。

・FS誌OA検討委員会（特別委員会）

　　岡田担当理事　特になし。

・法人の体制見直し委員会（特別委員会）

　　吉崎担当理事より、代議員制の導入について、会長を交え検討している旨の報告があった。今後、内容を検討し、社員総会で提案を出す流れになる。

② その他確認事項

(1) 事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程

　　吉崎総務担当理事より、日程の確認がなされた。

(2) 次回の理事会について

吉崎総務担当理事から、次回の理事会は令和 7 年 2 月 1 日（土）13 時から Web 会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15 時 18 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 6 年 12 月 7 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監事

監事

監事

